

8.6 広島へのAWC日本連アピール

71年前、アメリカ帝国主義はこの広島に原爆投下し、さらに長崎にも原爆の大量殺戮兵器を使用し、数十万人の大虐殺、爆弾と放射能の膨大な被害者をうみだす戦争犯罪を強行しました。徹底的に弾劾します。日本は当時、侵略戦争、植民地支配を朝鮮、中国、東南アジア・太平洋の諸国に行っていました。そして現在、安倍政権は憲法を破壊し、戦争法を強行し、アメリカとの集団的自衛権行使に締結して、アジア、世界へと自衛隊・米軍による侵略戦争出撃をくりかえそうとしています。

オバマ米国大統領とファシスト安倍は、伊勢志摩サミットと広島訪問を行いました。オバマはこの時、「核廃絶」も「原爆投下の戦争犯罪の謝罪」も言及しませんでした。核武装した日米軍事同盟の強化をねらったものでした。広島長崎の被爆者二世三世を先頭とした被爆者解放運動に真っ向から敵対するものでした。日米政府は、朝鮮戦争の再開をねらい、核戦争を企てています。ぜったいに許してはなりません。

私たちアジア共同行動は、アジア人民と連帯して、沖縄人民とともに自衛隊海外派兵と日米軍事同盟に反対し、侵略戦争の絶対阻止を1992年以来24年間闘ってきました。それは、かつての日本のアジア侵略戦争でアジア各地人民の2000万人以上を殺戮し、沖縄戦で20万人の犠牲、広島長崎で数十万人が虐殺され、国内で約310万人が犠牲となった誤りを繰り返さない、そうした痛苦的総括であり反戦の決意にほかなりません。だからこそ、朝鮮、中国、フィリピンなどアジア各地人民や元日本軍性奴隷被害者たちなどにたいして、天皇の戦争責任や国家責任を明確にした戦後賠償をなんとしても実現していかねばなりません。沖縄、広島長崎の膨大な犠牲者にも、国家責任を明確にした補償を実現していかねばなりません。

私たちアジア共同行動は、アジアや沖縄、広島長崎の犠牲を受けとめ、こうした人々とともに日米政府の侵略戦争を阻止し、安倍政権の改憲攻撃を打ち砕いていく決意です。先の参院選では、沖縄、福島、東北などで、基地や原発やTPPを拒否し、安倍政権打倒の勢力が勝利しました。闘いはこれからが正念場です。被爆者二世三世の解放闘争、韓国民衆やアジアとの連帯、沖縄解放闘争とともに、安倍政権打倒をかちとりましょう。

今後の闘いの第一は、沖縄の高江ヘリパッド反対、辺野古新基地建設阻止という現在のはげしい攻防の沖縄解放闘争の決戦を担うことです。岩国基地強化反対、京丹後米軍Xバンドレーダー基地撤去、神奈川・横田の反基地闘争を強め、戦争阻止を闘います。8月21日の岩国反基地反対の国際行動デーを各地で行い、12月10-11日の岩国現地行動に立ち上がっていきます。

第二に、「核と人類は共存できない」といった被爆者解放闘争の内容をひろげ、反原発・核武装阻止の闘いを強めていきます。川内原発の停止、伊方原発再稼働阻止を断固かちとっていきます。

第三に、アジア人民と連帯し、日米のアジア支配に反対する国際連帯に取り組みます。11月韓国労働者大会へ青年・労働者を派遣します。闘うフィリピン人民との実際に連帯します。新自由主義や貧困化、基地と戦争に反対し、そうした国際行動を進めます。

先日、精神障害者を抹殺する、許しがたい差別襲撃、大量殺戮事件が相模原で発生しました。また沖縄女性が米軍・米軍属の性暴力と殺戮の犠牲になることが続発しています。差別排外主義の殺人事件が激化しています。これらの問題の根底や背景には、資本主義の危機があります。利潤獲得競争のために弱肉強食を当たり前とし、新自由主義を徹底化しています。私たちは、資本主義・帝国主義の弱肉強食や戦争・差別を根底から粉碎し、変革しなければなりません。労働者/若者/被差別大衆の解放運動をすすめます。貧困、差別、侵略戦争の無い社会にむけて、アジア規模で闘っていきます。ともにたたかきましょう。